

# あおぞら21

熊本地震関連工事契約3件可決(1月議会)… 2  
防災の本質は予防にある。予防に勝る対策なし!(独自研修会)… 3

表紙: 着々と復旧へ…八勢目鑑橋(2月12日現在)

1月定例会

30年2月28日

No.125

熊本・みまね町議会

# 熊本地震関連工事契約3件可決

議会を17日開催した。工事請負契約3件を可決、継続審査となっていた請願1件を採択した。

## 議会で決まったこと（1月17日）

議案号数	簡易議案名	概要	質疑・討論の有無	採決結果
議案59	工事請負契約の締結について	中原団地地区宅地耐震化推進滑動崩落対策施設（その2）工事	無	全会一致で可決
議案60	工事請負契約の締結について	災害関連地域防災がけ崩れ対策（小坂①）工事	無	全会一致で可決
議案61	工事請負契約の締結について	町道八竜陣線（本線）八竜橋 橋梁災害復旧工事（上部工）	無	全会一致で可決
請願1	平成28年熊本地震に伴う御船町公民館上野分館の移設について	熊本地震に伴う御船町公民館上野分館の移設を求める請願	無	全会一致で採択

## あおぞら会議

# 消防団とあおぞら会議開催

御船町議会議員 **岩田重成**



消防団と議員の意見交換

1月26日、御船町消防団団長、副団長3人以下、分団長13人と議員であおぞら会議を行った。内村団長より消防団の現状報告を受け、意見交換を行った。消防団がいま一番苦労しているのが団員不足。20年前と比較すると193人減少しており、とくに、山間部を管轄する分団団員の減少数が大きく、6分団で48人減少、3分団にいたっては、現在12人の在籍であり、活動するには厳しい状況とのことだった。また、

3分団は平均年齢が40.83歳と、他の分団よりも高い状況であり、6分団では、次に入団するのは現在の団員の子どもたちしかいないという状況だった。他の山間地域を管轄する分団でも少子高齢化や若者が地元に残らないなどの影響で、今後も団員数の減少が進むと予想される。

今後、分団の統廃合を考える可能性もあるため、議会からもよいアドバイスを頂きたいという意見もあった。

### ■ 御船町消防団員数の推移

■平成9年(39班618人)	■平成19年(33班460人)	■平成29年(30班425人)
1分団(御船)92人	→ 78人(14人減)	→ 86人(8人増)
2分団(滝尾)48人	→ 34人(14人減)	→ 32人(2人減)
3分団(水越)41人	→ 24人(17人減)	→ 12人(12人減)
4分団(七滝)51人	→ 46人(5人減)	→ 35人(11人減)
5分団(上野)68人	→ 43人(25人減)	→ 43人(増減0)
6分団(田代)74人	→ 43人(31人減)	→ 26人(17人減)
7分団(木倉)76人	→ 54人(22人減)	→ 52人(2人減)
8分団(高水)68人	→ 62人(6人減)	→ 55人(7人減)
9分団(小坂)87人	→ 61人(26人減)	→ 80人(19人増)

# 防災の本質は予防にある。予防に勝る対策なし!

御船町議会議員 岩永宏介



笑いを交え講演する有浦企画鑑

『町議会独自研修会』が2月5日、上益城消防署を会場に行われた。

議員はもとより嘱託員理事、消防団、上益城消防署関係の方々、加えて町長をはじめとして役場職員など、総勢約60名が参加。『町村防災とは?』について県危機管理防災企画監 有浦隆氏の講演に耳を傾けた。

『行政は住民を災いなき地におき、災いの前に逃がす。住民は、疑わしきを察し、災いの前に逃(のが)れる』(講演者の造語)。

熊本県は、風水害対応についての先進県であり、体制として予防的避難を確立している(全

国初)。また土砂災害特別警戒区域(レッドゾーン)からの移転を促進、一軒からでも、国の制度(がけ地近接等住宅移転事業)と併せれば最高1,100万円の補助が受けられる。

災害に強いまちとは、①住民自らが準備できていること(自らの命は自らが守る気概と地域の連携)、②防災リーダーがいること(学んだ知識と豊かな発想を活かした各種計画の作成と準備)、③災害発生後の行政事務に滞りがないこと(被災者は、まず命を求め、住を求め、そしてお金を求める)の3つをあげられた。

人間には克服すべき性(さが)がある。「自分(だけ)は大丈夫」、「たいしたことにはならない(はず)」と根拠のない思い込みにとらわれる(「正常化の偏見」)。

「早めの明るいうちに逃がす、逃げるタイミングを逃させない」、これが県の予防的避難の考え方である、と力説された。

様々な示唆に富み、深く考えさせられる有意義な講演でした。

# 九州中央自動車道の整備促進提言活動

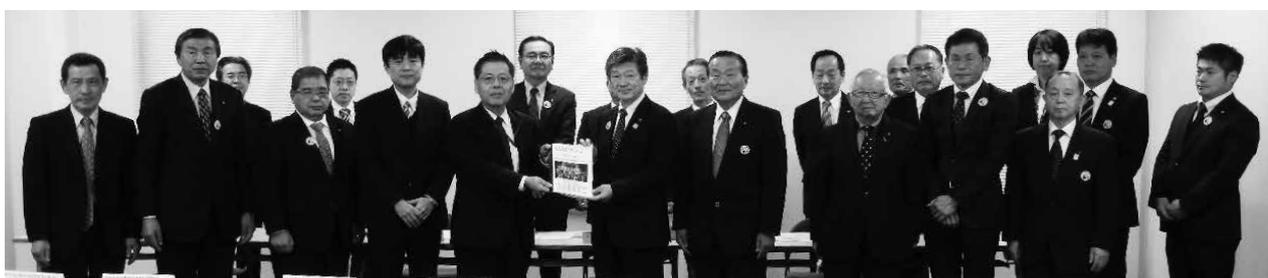
御船町議会議員 田端幸治

1月18日～19日に、建設促進期成会梅田穰(山都町長)・首藤正治(延岡市長)両会長はじめ関係首長・議長等20名が出席し、衆議院会館にて地元選出国會議員との意見交換および要望活動、そして国土交通省に対し提言書の提出と要望活動を行った。席上、石川雄一国土交通局長より、蘇陽～高千穂間整備に向けた国の委員会開催の報告を受け、関係者一同歓喜の声が会

場に広まる状況であった。

翌日は、国土交通省九州地方整備局にて同様の提言活動を実施。九州地方整備局下山博文副局長はじめ2名の担当官に対し、中央道の必要性を提言し更なる進捗を要望した。

31年春には小池高山IC～北中島IC間が開通予定であり、今後においても要望活動の継続と整備の促進を願うものである。



国へ要望書を提出



# 地域の絆を大事に

去年アメリカから御船に来ました。25年前に日本に来た時も御船の高木でした。

まだ高校生だった私は高木にいただけで嬉しかった。周りの人はみんな優しく、外国人でも暖かく受け入れてくれました。

自分が家族を持ったら家族にもその経験をさせてあげたいという夢がありました。

今も地域の多くの皆さんの支えがあって、日本の生活を楽しんでいきます。

小学生の子どもが登下校する時も、地域の皆さんが自分の子どものように見守ってくれます。

高木の復興祭り、どんどや等地域の行事にも家族で参加し、子どもたちも交流を深めています。

また、先日は町の駅伝大会にも参加しました。地域をつなぐために選手をはじめ、多くの方が積極的に協力されている姿に心を打たれます。

これからも地域の絆を大事にして、地域がうまいくいよう頑張ります。



甘木  
Jeremy Kitchen さん  
(ジェルミー・キッチン)

## 議会の予定 3月

- 1日 御船高校卒業式
- 2日 全員協議会  
モニター・アドバイザー  
合同会議
- 8日～16日 議会(予定)
- 10日 御船中学校卒業式
- 17日 健康を守る婦人の会総会
- 22日 各小学校卒業式
- 24日 公立保育園卒園式
- 25日 婦人会総会

## 編集後記

暦の上では春になりましたが、毎日寒い日が続いています。雪の日も昨年より多く、またインフルエンザも猛威を振るっています。体調には十分気を付けてください。

広報紙の編集会議で、2月号の表紙に八勢の目鑑橋を載せる話が出て、私が写真を撮ることになりました。天気が悪い日が続いていました。いつ撮りに行こうかと考えていましたが、たまたま12日は雪が降りました。雪の目鑑橋も風情がありいいかと思いき早速写真を撮りに行きました。橋の周りを見ながらポイントを探し雪が残っている所を中心に撮ることができました。

## 訂正

30年1月31日発行「あおぞら21 No.124号」の記述に誤り(P4写真のキャプション)がありましたので訂正いたします。

- 誤 老朽化した仮設住宅
- 正 老朽化した町営住宅

八勢の目鑑橋は、歴史ある石橋であり、熊本地震で被害も今回修復工事が進み、ほぼ元の姿になりつつありました。今度は、桜の時期に修復工事が終わった八勢の目鑑橋を見に行きたいと思っています。

森田優二

## 議会広報編集特別委員会

発行責任者	田端 幸治
委員長	岩永 宏介
副委員長	中城 峯雄
委員	岩田 重成
委員	清水 聖
委員	田上 忍
委員	森田 優二